Creative Enzymes®

ヒト由来の細胞質5'-ヌクレオチダーゼII、組換え品

Cat. No. NATE-1742

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	E.coli
用途	ヒト細胞質IMP/GMP特異的5'-ヌクレオチダーゼ/ホスホトランスフェラーゼII (cN-II) は、ヒト肝癌細胞から抽出したmRNAのRT-PCR□幅によってクローニングされた65kDaの純粋で活性なタンパク質であり、E.coliで発現されています。クローニングされたNT5C2遺伝子の配列（GenBankアクセッション番号P49902）は、DNAシーケンシングによって確認されました（100%の同一性）。
別名	ウリジン5'-ヌクレオチダーゼ; 5'-アデニル酸ホスファターゼ; アデノシン5'-ホスファターゼ; AMPホスファターゼ; アデノシン一リン酸; 5'-モノヌクレオチダーゼ; AMPアーゼ; UMPアーゼ; ヘビ毒5'-ヌクレオチダーゼ; チミジン一リン酸ヌクレオチダーゼ; 5'-AMPアーゼ; 5'-AMPヌクレオチダーゼ; AMPホスホヒドロラーゼ; IMP 5'-ヌクレオチダーゼ; EC 3.1.3.5; CD73; NT5E; エクト5'-ヌクレオチダーゼ

製品情報

種	cN-II
由来	人間
EC番号	EC 3.1.3.5
CAS登□番号	9027-73-0
分子量	65kDa
活性	≥ 0.150 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1単位の5'nucleotidaseは、pH 7.6、37°Cで、20mM MgCl2、5mM DTT、500µM KH2PO4、1.25mM IMPの存在下で、連結PNP/XDH酵素系によって測定された場合、1.0µmoleのIMPをイノシンに□換します。

使用法とパッケージング

包装	安定した凍結乾燥形態

保管・発送情報

保存方法	–20 °Cの溶液中に50 mM Tris-HCl、pH 7.6、2 mM β-メルカプトエタノール、50% グリセロールを含む。